

特定非営利活動法人

東京シューレ

2016年度(第18期)

活動報告書



フリースクールフェスティバル ダンス発表 2016年11月23日

特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <http://www.tokyoshure.jp>

もくじ

ごあいさつ	理事長 奥地圭子	-----3
2016 年度 (第 18 期) 事業報告及び決算について		-----4
■ 1. 2016 年度基本方針・重点目標をふり返る		
■ 2. 事業の概要		-----5
■ 3. フリースクール事業について		-----7
(1) 王子シューレ		
(2) 新宿シューレ		
(3) 流山シューレ		
(4) シューレ大学		
■ 4. 在宅不登校支援・ホームエデュケーションネットワーク事業について		-----12
■ 5. 高校コース事業		-----12
■ 6. その他の活動		-----13
■ 7. 団体の運営に関する報告		-----16
■ 8. 決算に関する報告		-----18
監査報告		-----20
2017 年度 (第 19 期) 活動について		-----22
新役員名簿		-----23

はじめに



NPO法人東京シューレ理事長 奥地圭子

NPO 法人東京シューレ会員の皆様、ご支援・ご協力いただいている皆様、いつもありがとうございます。

東京シューレを開設して 32 年、NPO 法人化してから 17 年たちました。30 年以上経つと、社会の状況も色々変化があります。最近の動きで特に大きいことは、昨年末成立した「教育機会確保法」でしょう。これには「休みの必要性」や「学校外の学びの重要性」が明記されました。また、不登校やフリースクール関係の国の有識者会議の方向が、従来の学校復帰一辺倒ではなく、子ども個人の状況に応じて、社会的自立へ向けて支援する方向で検討され、昨年 9 月には「不登校は問題行動ではない」「児童生徒個人が悪いという根強い偏見は払拭するように」という全国への通知も出されるなど、変化してきています。東京シューレのこれまでの活動が、このような動きを生み出す力になってきたのは確かです。

居場所を求める子ども達が増える状況のなか、何を、どう考え、どうやっていったらいいか、これからも、共に考えていただけたら幸いです。

ひきつづき、よろしく、お願い申し上げます。

2016 年度（第 18 期）事業報告及び決算について

■ 1 2016 年度の基本方針・重点目標を振り返る

下記の重点目標を設定して 1 年間取り組んでまいりました。

重点目標と成果

〔重点目標 1〕 子ども・若者一人ひとりの学ぶ権利を多様なかたちで保障・実現し、子ども中心の教育を推進する。

〔成果〕

- 5 つの理念（居場所であること、やりたいことを応援すること、自己決定を尊重すること、子ども・若者たちでつくること、一人ひとりの個性を尊重すること）を中心に、フリースクール王子・新宿・流山、ホームシューレ、シューレ大学の運営を継続発展させることができ、会員数も増えました。
- チュートリアル、個別相談のほか、一人ひとりの状況や希望によって個別活動、個別学習ができる体制づくりに努めました。石橋財団助成によってサポートスタッフ制度をつくり、スタッフ体制のなかに位置づけることができました。

〔重点目標 2〕 各スペースの場や環境の整備（新宿、流山、大学は整備した環境をさらに有効活用し、王子は会員増や高校コースの活動に適したスペース増設、設備修繕を行います）。

- 王子は玄関靴箱、会員ロッカーの整備、大学はエアコン、コピー機の入替を行いました。
- 王子 6 階の増築を検討しましたが、設計・制度上不可能との結果となり、岸町ふれあい館や北とびあ等の施設借用で対応しました。

〔重点目標 3〕 「教育機会確保法」の実現、国や東京都等によるフリースクール支援施策・関連予算の有効活用、教育行政との連携、フリネット、実現する会、大学等との連携やネットワークなどを通じて、フリースクール等の学校外の学び全体の基盤整備に貢献する。

- フリースクール全国ネットワークや多様な学び保障法を実現する会と連携して、議員連盟・立法チームへの働きかけ、国会傍聴などをとおして立法実現に精力を傾け、「教育機会確保法」が 12 月 7 日成立しました。
- 「休養の必要性」や「学校以外の学習の場」の重要性が明確にされ、今後の不登校・フリースクール・ホームエデュケーション支援の足掛かりができました。
- 7 月 15 日文科省初等中等教育局長の王子シューレ視察、7 月「不登校に関する調査研究協力者会議」最終報告、9 月 14 日文科省通知が出され、「不登校は問題行動ではない」、「根強い偏見を払拭」など、方向性が明確にされました。奥地が委員となった「フリースクール等検討会議」は 2 月最終報告がまとまり、公民連携やフリースクールの自主的な発展を後押しする内容が盛り込まれました。
- 国のフリースクール支援関連予算は、フリースクールに通うための経済支援を含むものでしたが、対象となるシューレ会員の在籍する自治体へ働きかけたものの、活用実施に至りませんでした。
- フリースクールでの公民連携として、初中等部会員の在籍校担任説明見学会を 8 月に開催し、理解を深めていただくことができました。
- 東京都教育委員会は公民連携・民間のノウハウ活用の施策として「教育支援センター（適応指導教室）におけるサポー

ト講座」をモデル事業として実施し、東京シューレも受託、福生市と東大和市において、親の会とフリースペースづくり等に取り組みました。

- 東京学芸大学「多様な学びと子ども支援」の講座を奥地が担当し、早稲田大学「子ども参加と学び支援論」に協力しました。

〔重点目標 4〕フリースクール、ホームシューレ、大学という基本となる事業を土台として、活動・事業が継続・発展していけるよう、スタッフ体制の充実、場の維持確保、財政の安定化につとめる。また、社会的な認知や役割の高まりに応じていけるよう組織の整備も進める。

- 国の不登校・フリースクール施策、立法の動きを背景に、フリースクールへの社会的関心が高まり、東京シューレの活動がより認知されるようになりました。とくに小学生の保護者の説明会参加が増え、親子がフリースクールを選びやすくなっている状況が明らかになってきました。
- 各スペースとも会員が増え、流山の経営も安定化の方向性が見えてきました。王子の上半期の入会者数が予想を下回った影響がありましたが、スペースの拡張予算が執行できなかったこと、都委託事業など年度途中からの活動が加わり、結果的に収支均衡のとれた経営ができました。
- サポートスタッフ制度、スタッフ研修に力を入れ、スタッフの養成と向上を図りました。

〔重点目標 5〕大田土地の隣地を取得し、既存スペースの活用検討と土地建物の将来的な有効活用について“あらゆる”検討を関係者の参画によって進める。

- 4月28日に臨時総会を開催し、大田隣地取得を決定、6月取得し、7月から大田土地建物活用検討委員会をNPO会員の自由参加で行い、調査・検討していくこととしました。
- 検討の結果、認可保育所併設（運営は民間保育事業者）の建物として建替える計画をまとめ、2月11日に臨時総会を開催し、決定しました。シューレ部分はフリースクールを中心に事業を行い、スペースの確保による環境の改善、経営の安定化を目指すこととなりました。

■ 2 事業の概要

2016 年度（第 18 期）においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク（在宅不登校支援）事業」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。

（1）会員数等の動向

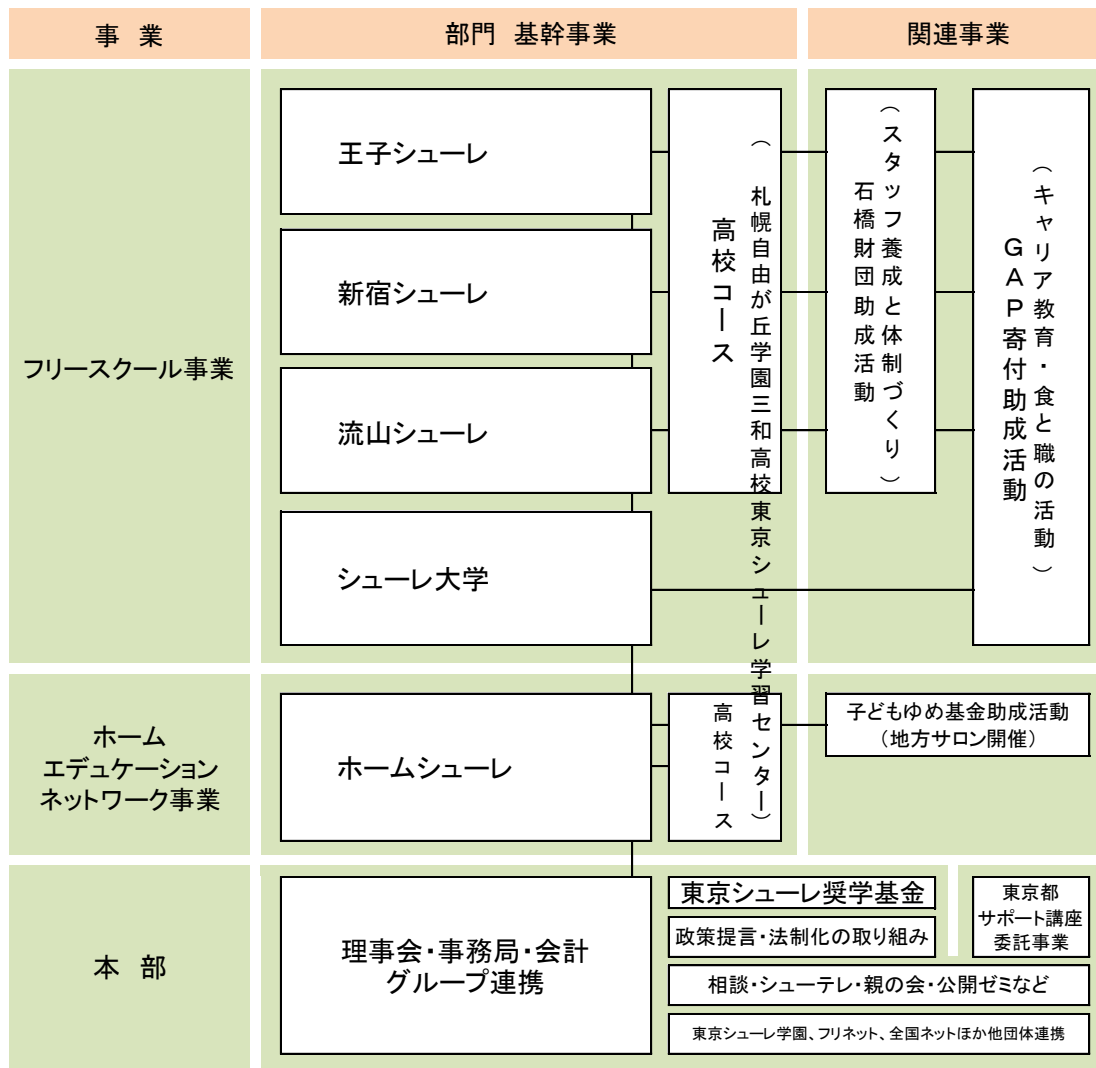
2016年度在籍者数 ()は2015年度

	王子		新宿		流山		ライフデザイン		シューレ大学		ホームシューレ		
	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年度末
説明会申込者数	263 (267)								10 (22)				
説明会参加者数	185 (197)								8 (18)				
入会者数	34 (34)		6 (6)		7 (7)		0 (0)		9 (6)		39 (44)		
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年度末
初	16 (10)	15 (9)	7 (5)	5 (5)	13 (10)	12 (7)					ファミリー	126 (125)	102 (104)
中	21 (22)	20 (17)	15 (9)	13 (6)	2 (3)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	36 (31)	35 (29)	ペアレント	94 (98)	82 (82)
高	64 (69)	64 (53)	22 (21)	21 (18)	8 (9)	8 (6)							
計	101 (101)	99 (79)	44 (35)	39 (29)	23 (22)	22 (14)	1 (1)	1 (1)	36 (31)	35 (29)	0	220 (223)	184 (186)

(3) 東京シューレの 1 年

2016	こんなことがありました	
4 月	高校コース入学式 東京学芸大学「多様な学びと子ども支援」講座開始 ホームシューレ大阪サロン 臨時総会開催、大田隣地取得を決定	
5 月	スポーツ交流会 ログハウス保護者山菜合宿 北区子ども支援関係者団体情報交換会に参加	議員連盟が「教育機会確保法」の国会上程を決定するも、参議院選により審議入り延期 文科省フリースクール等検討会議
6 月	合同企画「なぜ私は東京シューレを選んだか」開催 フィンランドIDEC参加 NPO通常総会 大田隣地取得 JDEC日本フリースクール大会を葛飾で開催	文科省フリースクール等検討会議
7 月	大田土地建物活用検討委員会開始 納め会 文科省初等中等教育局長視察 APDEC参加 フリースクールコース北海道スクーリング	実現する会総会馳浩文科大臣来場 文科省「不登校に関する調査研究協力者会議」最終報告
8 月	ペルー・ナソップの子どもとクシアピッチ神父来日交流 夏休み明けの子どもいのちを守る取組(動画メッセージ、開放居場所、シューテレ)実施 全国ネット・子ども交流 仙台大会 第 9 回シューレ大学国際映画祭	
9 月	動画メッセージが大反響を得て、3 週間で 10,000 回視聴、新聞、ネット、テレビ、ラジオで取り上げられる スポーツ交流会 都教委「サポート講座事業」受託スタート	都教委とフリースクール等民間施設・団体との意見交換会 文科省通知「不登校への対応の在り方について」
10 月	ホームシューレ全国合宿 ログハウス保護者ききの採り合宿 東京APDEC実行委員会スタート シューレ大学研究イベント	文科省フリースクール等検討会議
11 月	不登校調査 50 年 日本社会は不登校をどう見てきたか 開催 フリースクールフェスティバル(秋の陣)	教育機会確保法、衆議院で審議・可決
12 月	フリースクールフェスティバル(冬の陣) クリスマス会、王子紅白歌合戦 教育機会確保法成立院内集会開催 シューレ大学演劇公演 教育機会確保法成立これからのことを話そう開催	教育機会確保法、参議院で審議・可決・成立 文科省フリースクール等検討会議
1 月	ホームシューレコース北海道スクーリング スポーツ交流会	教育機会確保法文科省フリースクール等検討会議
2 月	多様な学び実践研究フォーラム参加・発表 シューレ大学絵画展 臨時総会開催、大田新築・保育所併設決定 スキー合宿、男鹿田舎体験ツアー	文科省フリースクール等検討会議最終報告発表 教育機会確保法、基本指針検討
3 月	王子シューレ活動発表会 シューレ大学ターン展参加・創作発表 ホームシューレ掛川講演会 大田建物検討委員会 旅立ち祭、高校コース卒業式 新宿シューレ音楽イベント	議連総会 基本指針審議

(4) 2016 年度の事業・活動全体の様子



■ 3 フリースクール事業について

3 スペースを週 5 日で開設し、6 歳(小 1)～23 歳(入会は 20 歳まで)を対象に受け入れ、初等部・中等部、高等部と高校コースを置き、子どもミーティングで活動や学習を決めていく子ども中心の学びを継続・発展させました。どのスペースも会員数が増え、150 名を超えて、過去最大の会員数となりました。

(1) 王子シューレ

事業費 3503 万円

年間を通じて説明会参加や体験見学が多くあり、つながった家庭と丁寧に連絡を取り親の会の案内や個々の状況に応じたサポートを行い、とくに初等部の会員が増えました。しかし 6～8 月の入会がなく会員数が予測を下回ったこと、スペースの拡張が実現しなかったことにより支出が押さえられたこと、スペースの窮屈さは課題でしたが、各階の使い方で工夫しましたが、ひきつづき課題となっています。活動においては高等部のメンバーが中心となりイベント、サークル、メッセージ動画などに取り組み、次の世代につなげていくことを意識しながらつくる様子も見られ、旅立ちも多くなった年度でした。スタッフ体制については、3 人のサポートスタッフを採用したことにより、より充実した講座づくりと個々のメンバーへの対応が可能になりました。男子の会員が多く、女子が入りやすい環境づくりや外部への広報が課題です。

① 個々のニーズや関心に応じた多様な学びの機会、部ごとの特徴を持った学習や取り組み

学生 N P O サイエンスリンクによる実験ボランティア、サポートスタッフによる「実験講座」、英語のネイティブである保護者やサポートスタッフによる「英会話講座」、「美術講座」「機織り講座」、初等部のミニいろいろタイム、個別タイム、英会話、料理講座、プログラミング講座(セールスフォース・ドット・コム社提供)、イラスト講座、演劇、進学を目的とした個別学習、卓球の時間、サークル活動、高等部の「大人の階段講座」(ネイル、選挙権、情報リテラシー、性)など、個々のニーズに応えた時間を実現しました。

② 自然・地域に触れる学び

農業体験(田植え、稲刈り)、北区王子周辺散策、秋田県男鹿田舎体験ツアーなど、自然や地域に触れる学びが充実しました。

③ サポートスタッフ採用によるスタッフ体制を充実

年間を通して、3名のサポートスタッフを採用したことにより、会員との関わりにおけるスタッフ体制が厚くできました。また、3名のスタッフのそれぞれの持ち味が講座や子どもとの関わりの中で、発揮されたことにより、より幅広い子どもの特性やニーズに対応することが可能となりました。

④ 説明会参加者、見学者へのフォローアップ体制の構築

セールスフォース導入により、説明会から見学、入会に至るまでの対応をスタッフ間で共有し、より丁寧に、適切なタイミングでフォローアップすることが可能となりました。この取り組みにより、すぐに入会には至らないものの、保護者とのつながりをつくることで、今後見学や入会にいたるケースが中長期的に見込める期待ができます。

2016	こんなことがありました
4月	各部での歓迎会 ゲームプログラミング講座はじまる
5月	スポーツ交流、田植え
6月	
7月	31周年イベント、会員シンポジウム 北海道スクーリング
8月	夏休み明けの自殺防止動画プロジェクト
9月	スポーツ交流
10月	ハロウィンパーティ、稲刈り
11月	フリフェス秋の陣
12月	フリフェス冬の陣、クリスマス会、第2回紅白歌合戦
1月	新年会、スポーツ交流
2月	スキー合宿、男鹿田舎体験ツアー
3月	活動発表会、旅立ち祭、高校コース卒業式

⑤ 夏休み明け 子どもの“いのち”を守る取組 動画メッセージを作成

夏休み明けの学校に苦しむ子ども達に向けた動画を撮影、YouTubeにて配信しました。子どもの発案により、親による親に向けた動画も撮影し、保護者会も協力しました。多くのメディアに注目され、不登校の経験や想いを発信し、閲覧回数も、1万5千回を超えました。

⑥ スキー合宿

2月12~14日、群馬県尾瀬岩倉スキー場。3スペースのほか、OBOG、シューレ中学校からの参加もありました。

⑦ 旅立ち祭

スペース全体で31名が年間を通して旅立ちました。従来のシューレ大学スペースで開催していましたが、手狭になったため北区北とびあドームホールで、3月20日に開催しました。テーマ「銀河ロケット2016」を掲げ、ステージ、シンポジウム、旅立ち式を行い、最後にロケット風船を飛ばしました。また、パーティ準備は王子シューレ、会場は北とびあスカイホールで、手作りの温かい旅立ち祭となりました。

⑧ 環境整備・施設設備

玄関・下駄箱の改装整備、3階、5階のロッカー整備、保護者協力を得てWi-Fi設備の導入、コミュニケーションロボット「オリヒメ」の試験的導入を実施しました。高等部・高校コースの会員増を見込んで6階スペースの増築を家主と検討をおこなったが構造上難しく断念しました。

⑨ 課題と今後

- 主に自宅で過ごしている会員への関わり

準会員や主に自宅で過ごしている会員との関わりは、スタッフ体制が整えられず不十分でした。次年度への継続課題として、ひきつづき体制やしくみを検討していく必要があります。

- ミーティングや実行委員会への参加をどうつくっていくか

特に高等部はミーティングや実行委員会への参加が少ない傾向が続きました。フリースクールの特長を活かした活動づくりをひきつづき研究していく必要があります。

- 上半期の入会と女子の入会について

入会者が 5、6、7 月の 3 カ月間 0 人だったことが、スペースづくりにおいても経営面においても、大きく影響しました。また、会員の 3 分の 2 が男子で、活動や雰囲気は男子にとってなじみやすく、女子にとって入りにくい環境を変えていく必要があります。

(2) 新宿シューレ

事業費 1218 万円

体験見学者が増え、年度当初の予測より入会者数も増えた一年となりました。退会者は少なく会員全体は微増となりました。初・中等部に新しいメンバーが増え、通信作りや講座などの活動や学習が盛り上がり、高等部では、初・中等部にどのような環境や関係であるかをミーティングで話し合う時間が持たれるなど、異年齢によるタテの良さが発揮されました。

① 初・中等部への対応

見学が増えたこともあり、サポートスタッフを増やし対応しました。個別対応が増えてきたのもあり、安心して過ごせる居場所作りを心がけました。

② 学びの充実

初等部は個別を中心にし、中等部の基礎講座、高認講座、レポート講座など行いました。

個々のやりたいことをすぐにできるようにしたり、ミーティングで相談してみんなで行ったりしました。スポーツは、卓球、フットサル、バスケット、バドミントンを定期的に行いました。女の子向けの企画を子どもたち中心に月一で作り、盛り上がったのですが、人数の増加には至りませんでした。

③ イベント

新宿シューレ 21 周年祭、穴八幡祭りや野外音楽祭などの地域交流、卓球大会、季節の行事などミーティングや実行委員会で話し合いながら形にしました。

音楽祭は、バンド、コーラス、映像、ダンス、お笑いといろんなものが発表できるよう一から企画を練り、達成感の大きいイベントになりました。

④ 広報

Web (Facebook、Twitter、ブログ、ホームページ) で定期的に発信しました。年度初め講座スペースを広げ、多人数の講座や二つの活動が同時に使えるようになりました。また静かに過ごしたいときに過ごせる空間ともなりました。台所まわりが整備され談話スペースができました。

⑤ 課題と今後

男子会員が圧倒的に多くなり、女の子が入りにくく活動しにくい環境の改善が火急の課題です。

2016	こんなことがありました
4月	通信作り
5月	
6月	21周年祭、お泊り会、通信作り
7月	北海道スクーリング、APDEC 参加
8月	全国子ども交流合宿参加
9月	穴八幡祭り、野外音楽祭。通信作り
10月	しごと体験、卓球大会、ハロウィンパーティー
11月	フリフェス秋の陣、通信作り
12月	フリフェス冬の陣、クリスマス会
1月	新年会、卓球大会、通信作り
2月	節分、スキー合宿参加
3月	卓球大会、旅立ち祭、音楽祭、通信作り

(3) 流山シューレ

事業費 1071 万円

流山シューレとしては 2 年目が経過しスペース賃貸の契約も更新しました。引き続き広報には力を入れ HP・ブログ等の充実を図りました。また説明会は年 2 回行い、千葉・埼玉・茨城からの問い合わせが増え、会員増につながりました。高校コースも王子シューレからやホームシューレからの異動があり、流山学習センターも始まりました。

① 会員を増やす取り組み、広報活動

広報費用をかけてホームページ、ブログ等を充実させ、サイトアクセス、問い合わせ等の分析を行いました。また流山単独の説明会を年 2 回開催、毎週金曜日をオープンデーにするなど工夫を重ねました。参加者、入会者ともに増え、経営安定化の方向が見えてきました。

② 何かやる日

「お出かけ」の企画では、近くの清水公園を満喫しました。また、スポーツ交流会にも積極的に参加。その他にもドリンクバーと銭湯が組み合わせて企画された「セット A」シリーズは人気でほぼ毎月の活動に発展しました。「お泊り会」もミーティングで話し合いながら行うことができました。

③ フリースクールフェスティバル

ゲーム機購入という目標を立て「子ども市」を企画実施して 2 年目、子ども中心で出店を企画運営し、目標を実現することができました。

④ 保護者会

子どもの活動の盛り上がり、保護者会を相談しやすくするなどして保護者参加も増えました。

⑤ 課題と今後

経営的には組織全体に支えられて成り立っています。施設、スタッフ体制からみて、受け入れ可能な人数まで入会者を増やしていくことが課題です。

2016	こんなことがありました
4 月	お出かけ企画「清水公園お花見」
5 月	お出かけ企画「スポーツ交流会」
6 月	お出かけ企画「清水公園アスレチック」
7 月	お出かけ企画「清水公園プール」
8 月	夏合宿
9 月	お出かけ企画「清水公園プール」お出かけ企画「スポーツ交流会」
10 月	お泊り会
11 月	フリースクールフェスティバル お泊り会
12 月	クリスマス会 お出かけ企画「清水公園」
1 月	お出かけ企画「ラウンドワン」
2 月	お出かけ企画「筑波山」
3 月	旅立ち祭

(4) シューレ大学

事業費 1905 万円

2016 年度は 8 名の入学があり、学生が増えた 1 年でした。特に少ない傾向があった女性が 6 人入学し、男女のバランスが是正する方向にむかいました。映画祭、研究イベント、演劇公演、絵画展はそれぞれ積み重ねをしつつ、それぞれに新しさも加え充実させました。16 年度はデザインが参加者も増えカレンダーは 7 点を制作、世界との交流では台湾で開かれた APDEC に学生・OBOG が多く参加し、17 年度の開催の機運が盛り上がった。また、デモクラティック大学の世界の先駆けとしてポーランドから助言を求められたり、スペインからの視察もありました。

① デジタル技術を用いた学びとパイロットプロジェクトの充実

デジタル技術を用いた学びでは、ウェブデザイン、レイアウトデザイン、ビジュアルデザインなどの講座を充実させた。ウェブデザインでは講座をもう一枠広げ基礎と発展を設けた。発展の学生は、基礎講座の講師の TA(ティーチングアシスタント)を務めることで、自らの知識やスキルの確認の機会も持つことになった。レイアウトデザインでは紀要の編集だけでなく、パイロットプロジェクトとして、他団体の NPO のニュースレターをレイアウトした。ビジュアルデザインは講座の参加者も増え、専門ソフトウェアのワークショップも増やし、パイロットプロジェクトとしてカレンダーの制作・販売を行った。

② エアコン、電灯器などの老朽化した設備の更新

設置して 20 年以上経っていた空調を変えることで、空調のききもよくなり、騒音が気にならないようになり、冬の演劇公演では騒音がひどかったため、空調を使うことができず見る人に負担をかけていたが、この冬は空調を使うことができた。電灯器も昭和 30 年代のものを使っており、つかなくなっていたものを使えるようにした。

③ 自己否定感を解きほぐし、自分の価値観を構築していく 学びの充実

参加者が多い「生き方創造コース」の時間では発表者が発表した次の時間に発表した振り返りを書いた振り返りシートを配布するようにするなど、工夫をした。自分から始まる研究も、

研究手法のワークショップで今の時代に特徴的なメディアを用いた研究法などを取り上げた。

④ 国際的な企画の実施（国際映画祭、APDEC 参加など） と交流(訪問する海外からのゲストとの交流)

国際映画祭ではモスクワ国際フィルムスクールの作品やドイツのデモクラティックエデュケーションについての作品を上映した。台湾で開かれた APDEC には約 10 人のシューレ大学の学生等が参加し、2017 年度の開催につながった。フィンランドで開催された IDEC でシューレ大学について基調講演で話すことができたため、各地から問い合わせがあり、シューレ大学のようなデモクラティック大学を作りたいという人がスペインからやってくるなどのことがあった。

2016	こんなことがありました
4月	
5月	
6月	ワンデイワークショップ（研究、演劇、映像、絵画：4日）開催
7月	APDEC 台湾大会参加
8月	シューレ大学国際映画祭開催
9月	夏合宿/デザインカレンダー完成(7 デザイン)
10月	シューレ大学紀要発行・研究イベント開催 東京 APDEC 実行委員会発足
11月	
12月	演劇公演『変身』/石巻被災地支援
1月	
2月	絵画展開催
3月	TURN フェス2 出展/報告会/修了報告会

⑤ 課題と今後

- **APDEC 開催** … APDEC(アジア太平洋フリースクール大会)の主催はフリースクール全国ネットワークであるが、実行委員の多くはシューレ大学の学生や OBOG である。開催に向けて多くの学生が 2016 年度から準備に熱心に取り組んでいる。実行委員にはスペースの子どももおり、シューレ全体でこの大会を成功裏に開催したい。
- **施設・設備の修繕・改善** … シューレ大学の建物は 1 階部分は昭和 30 年代に建てられており、老朽化している部分や物が少なくない、必要に応じて修繕を行ったが、まだ不十分である。

■ 4 在宅不登校支援・ホームエデュケーションネットワーク事業について 事業費 1536 万円

2016 年で会員数減少は止まって横ばいを続けています。最近は親どうしの交流が活発で、年度末から保護者が中心となって新しいブックレットの作成を開始しました。懸案だったホームページをすでに刷新し、今後は特に会員の声を WEB で届ける予定です。

① ホームページの改訂

デザインを一新し、明るく見やすいページにしました。大きな変化はブログ形式で会員の声を届けられるようにしました。(運用は 2017 年度～)

② 京阪神地方の交流会

2 年度にわたって 3 回の交流会を実施し、小規模ながら会員有志による月例会の開催が定着しました。また京阪神のサロン参加者が東海地方のサロン参加者と積極的に交流し、横のつながりも深まっています。

③ 四国地方の交流会

京阪神に続いて、四国地方でも松山市で定例会が開催されるようになりました。

④ 成田全国合宿の実施

10 月に成田のシティホテルにて全国合宿を実施。前回よりもステージショーに力を入れ、会員のダンスパフォーマンスや映画上映などで盛り上がりました。

⑤ 課題と今後

- **広報の活発化** … 3月に新ホームページがスタート。5月6日にホームエデュケーションイベント実施。同月新ブックレット完成・頒布開始と、広報活動を活発化させます。
- **新しい学習サポートの開発** … インターネット通信を使った英語コースを実験的に有料で実施。学力コンプレックスの軽減・解消と、学力増進に寄与したいと考えています。
- **保護者の連携強化** … 地方サロンや自主サロンのほか、ブックレット委員会や秋のフリースクールフェスティバルへの参加を通じて、保護者同士が結びつきや協力を強め、ホームエデュケーションを一層推し進めていきます。

2016	こんなことがありました
4月	高校コース入学式・大阪サロン
5月	
6月	名古屋サロン
7月	上田サロン
8月	
9月	
10月	ホームシューレ全国合宿
11月	掛川サロン
12月	松山サロン
1月	高校コース冬季本校スクーリング
2月	
3月	高校コース卒業式

■ 5 高校コース事業

事業費 1226 万円

2016 年度入学者は 16 名で、在籍者数は 75 名。年度末に 24 名が卒業しました。本校スクーリングは、両コース共に北海道ならではの体験や講師の方々によるオリジナリティの高い教科スクーリングを実施しました。冬のホームシューレコースでは、氷上ワカサギ釣りも体験し、参加者の満足度も高かったです。日常のレポートサポートについても、フリースクールコースでは講師や学習ボランティアの協力により個別対応も取り入れながら、進めることができました。

① レポートサポート、スクーリングへのきめ細かな対応

フリースクールコースでは、サポートスタッフやボランティアの協力を得て、充実したサポート体制を築きました。また、ホームシューレコースでは、レポート提出を最後にまとめて出さず定期的に出せるように、短時間で取り組むようにアドバイスするなど、工夫と改善を図りました。

② 交流を深める(本校スクーリング)

カヌーをはじめとし北海道の大自然を満喫するとともに、共同生活を通してスペース間を超えた交流が盛んになりました。ホームシューレコースにおいても、交流が深まるように、グループ活動を設けたり、最終日の「札幌グループ自由行動」に

向けて計画を毎晩共同で立てるなどしました。

③ 東京スクーリングにおいて、ユニークで関心の高まる内容を実施

東京スクーリングにおいても、各講師にも工夫していただき、性の講座やアクティビティを入れるなど、楽しみながらユニークな学びをつくりました。

④ 本校スクーリングにおける特別活動の工夫

よさこいソーラン、朱鞠内湖ワカサギ釣りなど特徴ある活動を実施しました。

⑤ フリースクールやホームシューレを基盤とした学びをつくる

両コース共に、日常のフリースクールやホームシューレの活動をベースに体験活動、人間関係、スタッフとのかかわりなど広い意味での学びができました。一方、単位取得に必要な時間のみに参加する会員もおり、東京シューレの高校コースの特長を活かすさらなる工夫が必要です。

⑥ 進路支援

個別での進路相談、民間の進路・進学フェアの活用、受験のための個別学習タイムなどを実施しました。進路・進学フェアから学校体験に通って進学を決めた会員、東京シューレからの紹介や前年度卒業生の進路を参考に進学を決めた会員もいました。その結果、フリースクールコースでは、18名の卒業生のうち、6名が大学・専門学校・就労など具体的な進路を決めました。しかし、年間を通じた進路支援の計画や保護者と連携した取り組みが不十分であり今後の課題です。

2016	こんなことがありました
4月	入学式
5月	東京スクーリング（ホームシューレコース前期、フリースクールコース） スポーツ交流
6月	東京スクーリング（フリースクールコース）
7月	北海道本校スクーリング（フリースクールコース） しごと体験
8月	説明会
9月	東京スクーリング（フリースクールコース） スポーツ交流
10月	東京スクーリング（ホームシューレコース後期、フリースクールコース） しごと体験
11月	東京スクーリング（フリースクールコース） 説明会
12月	東京スクーリング（フリースクールコース） 説明会
1月	北海道本校スクーリング（ホームシューレコース） スポーツ交流 説明会
2月	学年末試験
3月	卒業式

⑦ 本校との連絡・運営について

東京にて協議3回、訪札しての協議1回、夏の本校スクーリング時に和寒町長・教育長訪問をとおして連携を深め、教務・事務・今後の高校の在り方などについて協議し、しくみの整備を進めました。

■ 6 その他の活動について

本部事業・管理費 3357 万円

(1) 保護者会/親の学び合い・相談/若者支援等の活動

- **フリースクール保護者会・個別面談** …保護者会は第2土曜日年11回開催。スタッフと保護者の個別面談は10月、11月に実施、保護者会も並行して実施しました。
- **説明見学会** …フリースクール入会希望の保護者対象に王子シューレで毎月1回計12回、流山シューレで2回開催。申込者209名、参加者140名
- **相談電話・来訪相談** …平日月～金10:00～18:00に相談電話を常設実施、来訪による相談も受付
- **親ゼミ・親の会** …毎月第2木曜日に親ゼミを年間11回開講、参加者のべ197人、「登校拒否を考える会」は毎月の通信発行と毎月第3日曜日の定例会開催に協力。
- **土曜サロン** …毎月第1土曜日14:00～17:00にひきこもり当事者の交流サロンを年9回実施、参加者数のべ82名

(2) 一般対象の研修・講習会・親の会、視察等

- **一般見学会や視察の受け入れ** …説明見学会のほか、北区民生児童委員、小平市児童民生委員、文科省初等中等教育

局長、富山県議会議員・教育委員会、板橋区教育委員会、大学・大学院のゼミ・インターン等（東京学芸大、早稲田大、東京大、東京経済大、千葉大）、全国適応指導教室連絡協議会、LITALICO など

- **出張実施** …東京学芸大学講座「多様な学びと子ども支援」、大田区児童民生委員連合会研修、八王子不登校親の会、城北ブロックボランティア・市民活動センター研修、明治学院大学、北区十条地区委員研修、全国適応指導教室連絡協議会総会、フリネットフリースクールスタッフ養成研修講座、中標津教育委員会、熱海不登校を考える会、大田区居場所づくり研究会、多様な学び実践研究交流、若者ひきこもり協同実践交流会など

(3) 東京シューレ主催等の催し

- **東京シューレ合同公開企画 vol.8** … 6月4日「なぜ私は東京シューレを選んだか」参加者 120 名
- **東京シューレ「子どもを知る」公開講座** … ①10月7日「児童養護施設の現場から」（笹尾正乃さん・希望の家）
②11月4日「性の多様性を知る」（遠藤まめたさん） ③2月15「子どもの権利条約と子ども支援 NPO のこれから」（喜多明人さん）
- **不登校調査 50 年日本社会は不登校をどう見てきたか** …11月20日、東洋大学社会貢献センター後援 190 名参加
- **教育セミナー「中高生の不登校と学びの多様化」（鈴木寛氏×奥地の対談）** …11月28日、角川ドワンゴ学園 N 高等学校と共催、参加者 100 名
- **公開ゼミ** … ①7月6日「フリースクールとはなにか」 ②9月21日「駆け込み！卒論、修論相談会」 ③11月16日「シューレ大学とオルタナティブ大学の可能性」 ④1月18日「フリースクールの活動理念を公教育で実践する：東京シューレ葛飾中学校」 参加者合計のべ 42 人

(4) 夏休み明け 子どもの“いのち”を守る取組

8月、フリースクールの子どもたちが動画メッセージ「学校に行くことは義務じゃない」を保護者にもメッセージ協力を得て制作し Youtube で公開したほか、子ども相談電話「シューテレ」を開始、またフリースクール全国ネットワーク加盟のフリースクール・居場所と連携して「開放居場所」を開設しました。動画は3週間で10,000 回視聴を超える大きな反響となり、メディアからの取材も多く受けました。

(5) 東京シューレ子ども相談電話「シューテレ」の開始

チャイルドライン®から独立し、シューレ独自の子ども相談電話を8月から毎週木曜日に実施。受け手には、シューレ保護者など関係者を中心にボランティアであたりました。

(6) 学校法人東京シューレ学園との連携による活動

スタッフ連携会議を定期的開催し、子どもスポーツ交流・ママ食、合同公開、行事・イベントの相互協力、シューレ中での「ようこそ先輩」、合同保護者会、スタッフ合同研修、行事広報協力、コミュニケーションロボット「オリヒメ」共同研究など、日常的に連携して活動しました。

(7) 立法、国のフリースクール支援、学校づくり・フリースクール公教育化の活動

- ① **超党派フリースクール等議員連盟による「教育機会確保法」の制定実現**
5月に超党派フリースクール等議員連盟と夜間中学等義務教育拡充議員連盟が合同で国会に上程し、7月参院選のため継続審議となるも、臨時国会において12月に成立しました。フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会と連携して推進し、国会審議・表決の傍聴にもシューレの保護者や子どもが積極的に参加し成立を後押ししました。また、院内集会や市民集会の開催や法の「基本指針」策定においても、東京シューレが運営や検討を中心に推進しました。
- ② **文科省「フリースクール等に関する検討会議」**
奥地が委員として参加し、フリースクールスタッフ養成研修や公民連携の事例を報告したり、審議経過報告パブリックコメントや奥地をとおして積極的に当事者の意見を伝えていきました。2月には最終報告「不登校児童生徒による学校以外の場での学習等に対する支援の充実～個々の児童生徒の状況に応じた環境づくり～」が公表されました。

③ 学校づくり活動

東京シューレ学園と連携して学校づくり委員会の設置は継続し、廃校等の情報収集程度を継続しました。

(8) 行政・学校等との連携・協働

- ① 在籍校担任見学の開催 … 8月3日、全スペースの会員の在籍小中学校担任等を対象に開催し、7校の参加があり好評で有意義な情報意見交換ができました。参加校を増やす工夫が必要です。
- ② 文部科学省 … フリースクール等検討会議委員に奥地が継続参加、2月最終報告がまとまりました。
- ③ 東京都教育委員会 … 東京都の「不登校・高校中退対策検討委員会報告」をもとに実施されたモデル事業「教育支援センター（適応指導教室）等におけるサポート講座」を約500万円で受託し、東大和市と福生市において、フリースペース（居場所）づくりと親の会運営を実施しました。公民連携の皮切りとなる先駆的な活動となり、他のフリースクール・NPO団体に参考となる事例となりました。
- ④ 北区 … 教育委員会指導課との連絡・情報交換の実施、子ども未来課「子どもの貧困対策アンケート」実施協力と子ども支援者団体連絡会参加、区議会にて文科省フリースクール支援予算の活用に関する質疑など、少しずつ関係の深まりがありました。

(9) 出版・メディア登場

- 20160429 朝日新聞 超党派議連の法案成立へ 不登校の子に多様な教育を支援
- 20160531 TOKYO 人権 2016 Summer 「学校に行く以外の道もあるんだよ 子ども一人ひとりに合った多様な教育機会を」
- 20160701 教育と医学 特集フリースクールの公教育化をめぐる
- 20160801 月刊『潮』連載アザ・チャイルド「自分の道を見つけるためのフリースクール。」石井光太
- 20160809 毎日新聞夕刊 夏休み明け 命守ろう NPO 開設窓口や居場所
- 20160826 産経新聞 夏休み明け前後に増える子供の自殺 変化見逃さず相談の扉広げて
- 20160826 時事通信社 子供に「駆け込み寺」を＝夏休み明け、自殺急増備え－各地のフリースクール開放
- 20160826 NHK総合（東海北陸）子どもスペシャル「夏休みが終わっても～いま“不登校”を考える～」
- 20160828 東京新聞 もうすぐ新学期 学校つらい子へ「大丈夫」 悩み相談を電話やチャットで
- 20160829 毎日新聞 夏休み明け：命守ろう NPO開設、窓口や居場所
- 20160830 毎日新聞 フリースクール：無料開放 夏休み明け、悩める子を待ってます
- 20160831 山陽新聞 滴一滴 タイトルは「学校に行くことは義務じゃない」。首都圏でフリースクールを・・・
- 20160831 日刊ゲンダイ DIGITAL 子どもの自殺が最多 夏休み明け“魔の9月1日”どう防ぐ？
- 20160901 BuzzFeed 「学校に行くことは、義務じゃない」 いじめに悩む子ども達に、経験者は語りかける
- 20160901 日刊ゲンダイ サラリーマン特集 Pick UP 子どもの自殺が最多 魔の9月1日どう防ぐ？
- 20160917 朝日小学生新聞 よみとき天声人語 174 私の意見（奥地圭子さん）
- 20160926 東京新聞 ニュースがわかる A to Z フリースクール
- 20161003 高知新聞 「学校に命かけないで」不登校経験者が呼び掛け いろんな選択肢を視野に
- 20161007 茨城新聞 「学校に命かけないで」不登校経験者呼び掛け フリースクールも視野に
- 20161007 京都新聞 「学校に行くこと義務じゃない」不登校経験者ら訴え いろんな選択肢を視野に
- 20161027 NHK ニュース シブ5時
- 20161030 カトリック新聞 シーズ「外国につながる子ども」たち 希望への橋渡し(50)「フリースクール」という選択肢
- 20161119 産経新聞 フリースクール授業料月3万円 家計圧迫通えぬ子も
- 20161119 産経新聞 不登校児童生徒を支援 衆院委教育機会確保法案可決 フリースクール位置づけめぐり大幅修正
- 20161120 朝日新聞 不登校調査50年、シンポ開催 日本社会の変化たどる
- 20161202 都政新法 東京シューレが研究集会 日本社会は不登校をどう見てきたか
- 20161207 日本経済新聞 不登校児、学校外で支援 教育機会確保法が成立
- 20161208 公明新聞 不登校の子どもを支える 夜間中学の設置促進も 教育機会確保法が成立

- 20161208 千葉日報 教育機会確保法が成立「不登校」を国支援 県内関係者「大きな一歩」 「不登校差別」との懸念も
20161211 公明新聞 教育機会確保法が実現
20161212 時事通信 フリースクール「現状変える一歩」 = 学校と連携課題・教育機会確保法
20161222 公明新聞 不登校の子どもを支えるフリースクール 成立した教育機会確保法
20170203 都政新報 進め「子供ファースト」 個々の学びを保障する不登校政策へ
20170224 読売中高生新聞 不登校という生き方
20170228 週刊新社会 「義務教育機会確保法」が拓くもの上・下
20170313 中日新聞 「不登校 怠けではない」 多様な教育の選択不可欠

(10) 他団体との連携・協働

- ① **関係団体とのネットワーク** …登校拒否を考える会、フリースクール全国ネットワーク（多様な学び保障法を実現する会）、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、全国不登校新聞社など
- ② **地域・NPO団体・企業・財団等との連携** …企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただきました。また、活動を賛助会員として支えていただいたり、社員ボランティアとの交流なども行いました。

●**ご協力いただいたり、協働した企業・財団等（敬称略・順不同）**… 石橋財団、GAP Inc.、ステートストリート、朝日ライフアセットマネジメント、日本産業パートナーズ、ベイン・アンド・カンパニー、セールスフォース・ドットコム、国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金、幸栄不動産、パナソニック、JK、稲栄社印刷、ほのぼの運動協議会・メディアサーカス、アレックス、東京シューレ出版、ツナガルラボ、創造集団 440Hz、パーニングギャラクシー、ありん堂、労働者クラブ保育園、ニチイケアセンター、クニイケアセンター、オリイ研究所、北区社会福祉協議会、東京歴史文化財団、日本NPOセンター・テックスーパ・Give2Asia、シーズ市民活動を支える制度をつくる会、パブリックリソース財団・GiveOne、北区市民活動推進機構

●**賛助会員として支援いただいた企業（敬称略）**… 大多喜ガス、五洋建設、東鉄工業、東京鐵骨橋梁

■ 7 団体の運営に関する報告

(1) 組織

- ① **NPO 年間会員数（ ）は昨年度年間**… 会員 314 (314) 名、支援会員 86 (87) 名、賛助会員 4 (4) 法人
- ② **総会運営**… 通常総会 2016 年 6 月 11 日 (土)、臨時総会 4 月 28 日 (木)、2017 年 2 月 11 日 (土) 開催
- ③ **理事会運営**… 定例理事会 11 回、臨時理事会 1 回開催
- ④ **委員会運営**… 財政委員会、学校づくり委員会、給与待遇改善委員会、大田土地建物活用検討委員会、PC ネットワーク等検討委員会を置きました。
- ⑤ **スタッフ体制**… 常勤スタッフに加え、非常勤で年間を通じて週 3.5 日以上勤務するサポートスタッフ制度をつくり、スタッフ体制を充実させると同時に、スタッフ養成の機能を持たせ、2017 年度に常勤として 2 名採用することを決めました（サポートスタッフ制度は石橋財団助成により実施）。その他、アルバイトやボランティアの力も得ました。

(2) 運営・経営

通常事業（8 部門）と 2 つの特別事業に区分して事業実施し、会計は NPO 法人会計基準によっています。

- ① **通常事業の状況** … フリースクール部門（王子・新宿・流山・大学）は、各スペースとも入会・入学者が増加、高

校コースも安定して経営全体に大きく寄与し、経常収益が 1 億 4532 万円、事業費 1 億 3576 万円超、当期損益 768 万円となり、予算に近い実績となりました。収益では石橋財団からの助成 500 万円や東京都委託事業にも支えられました。経常費用の約 88%を会員の皆さんで出し合って支え、不足分を寄付や助成金等、その他の収入でまかなう収支の構造です。自主事業に足場を置きつつ、社会に支えられた活動として成りたっています。基本金組入額は、大田の土地購入を反映して予算より大きくなりました。

※科目変更による予算の補正について…高校コースは札幌自由が丘学園三和高等学校との教育提携に基づく取引ですが、予算成立時に「受託事業収入」としていたところを「提携事業収入」と科目変更し、実績の仕訳もそれに準じました。

- ② **特別事業の状況** … 東京シューレ奨学基金と子どもゆめ基金助成活動を通常会計と区分して実施しました（特別会計の期末の残金は通常会計に繰り入れて終了させるため、損益差額 0 円となっています）。
- 子どもゆめ基金助成事業** … 「在宅不登校支援（地方サロン）」 30 万円
 - 東京シューレ奨学基金** … 前期からの繰り越し、ハマダ基金、個人からの寄付を原資として、11 家庭に対し 180 万円の減免支援を実施できました。
- ③ **寄付・助成金の受け入れ** … 入会・入学時寄付 7 口 70 万円（2017 年度予算の奨学基金と王子 Wi-Fi 等ネット環境整備に活用）と、会員、保護者、スタッフ、個人一般、企業・財団等から、総額 1544 万円のご寄付をいただき、経営と事業を支えていただきました。
- ④ **基本金の組み入れ** … 定款および入会金・会費規程に基づき、用途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費、土地取得における借入返済額相当の 787 万円を基本金に組み入れました。
- ⑤ **スタッフ等の待遇改善** … 2017 年度から中退共への加入を決めました。休日に行う行事や説明会などの手当・振替休日が課題です。
- ⑥ **施設・設備・備品**
- 本部・王子シューレ** … パソコンの計画的な入替、玄関・ロッカー整備、コミュニケーションロボット「オリヒメ」導入、ビデオカメラ、3~5FWi-Fi など
 - 新宿シューレ・シューレ大学** … 1 階エアコン入替、大学学生用 PC の計画的な入替

（3）大田土地建物活用検討

4 月臨時総会で隣地取得（6250 万円、120 m²）とそのための借入（4000 万円、10 年返済、瀧野川信用金庫）、2017 年 2 月臨時総会で、①シューレの活動・事業のための建物を新設、②①のために保育所併設と保育事業者を誘致、③建物新設のための資金の一部または全部を金融機関から借り入れることを決定しました。

（4）ログハウスの活用

保護者会で、ログハウスを知るキャンペーンとして春の山菜採り、秋のキノコ狩りイベントを実施。活用促進は課題です。

■ 8 決算に関する報告

(1) 活動計算書 (2016年4月1日~2017年3月31日)

					(単位:円)			
科目		通常事業	特別事業	合計	通常事業期首予算	決算一予算	達成率	
I 経常収益								
1.	受取会費	NPO入会金会費	4,415,000		4,415,000	215,000	105.1%	
2.	寄付金	一般寄付金	656,564		656,564	656,564	-	
		特定寄付金	7,666,087	1,817,000	9,483,087	6,246,000	122.7%	
3.	助成金	助成金	5,000,000		5,000,000	△ 1,800,000	73.5%	
4.	事業収益	入会金・会費等	102,197,563		102,197,563	104,109,600	98.2%	
		施設整備費	5,767,000		5,767,000	△ 124,000	97.9%	
		講習会・補助活動事業等	5,516,597		5,516,597	4,612,900	119.6%	
5.	受託事業収益		5,479,489		5,479,489	5,479,489	-	
6.	提携事業収入		11,571,820		11,571,820	9,822,000	117.8%	
7.	賃貸収入		744,800		744,800	744,800	-	
8.	その他収益		2,359,042	20,100	2,379,142	2,217,000	106.4%	
9.	基本金組入額	△ 7,881,564		△ 7,881,564	△ 3,900,000	△ 3,981,564	202.1%	
経常収益計			143,492,398	1,837,100	145,329,498	139,998,500	3,493,898	102.5%
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
		給与手当(通勤手当含む)	64,795,777		64,795,777	65,939,900	△ 1,144,123	98.3%
		退職金給付金	0		0	0	0	-
		法定福利費	9,043,264		9,043,264	10,023,500	△ 980,236	90.2%
		福利厚生費	116,981		116,981	123,000	△ 6,019	95.1%
人件費計			73,956,022	0	73,956,022	76,086,400	△ 2,130,378	97.2%
(2) その他経費								
		講師料・支払報酬等	2,785,098	39,000	2,824,098	2,946,000	△ 160,902	94.5%
		印刷製本費	4,073,230		4,073,230	3,515,000	558,230	115.9%
		荷造運賃発送費	820,203	12,460	832,663	586,400	233,803	139.9%
		旅費交通費	2,524,069	219,070	2,743,139	2,765,000	△ 240,931	91.3%
		通信費	702,924		702,924	852,500	△ 149,577	82.5%
		消耗品費・事務用品費	3,581,196	16,433	3,597,629	3,876,000	△ 294,805	92.4%
		その他活動費等	5,582,382	3,320	5,585,702	4,889,000	693,382	114.2%
		水道光熱費	2,145,500		2,145,500	2,110,000	35,500	101.7%
		地代家賃	19,848,000		19,848,000	22,249,000	△ 2,401,000	89.2%
		賃借料	352,948	11,300	364,248	316,000	36,948	111.7%
		租税公課	3,944,300		3,944,300	4,116,500	△ 172,200	95.8%
		減価償却費・保証金償却費	3,724,877		3,724,877	3,763,000	△ 38,124	99.0%
		奨学基金充当金		1,802,100	1,802,100	0	0	-
		支払手数料	587,325		587,325	414,000	173,325	141.9%
		受託事業支出	2,593,483		2,593,483	2,593,483	0	-
		雑費	823,730		823,730	379,000	444,730	217.3%
その他経費計			54,089,262	2,103,683	56,192,945	52,777,400	1,311,862	102.5%
事業費計			128,045,285	2,103,683	130,148,968	128,863,800	△ 818,516	99.4%
2. 管理費								
(1) 人件費								
		役員報酬	960,000		960,000	960,000	0	100.0%
		給与手当(通勤手当含む)	944,463		944,463	925,100	19,363	102.1%
		法定福利費	215,103		215,103	100,600	114,503	213.8%
		福利厚生費	2,813		2,813	3,000	△ 187	93.8%
人件費計			2,122,379	0	2,122,379	1,988,700	133,679	106.7%
(2) その他経費								
		支払報酬	763,924		763,924	378,000	385,924	202.1%
		印刷製本費	47,862		47,862	15,000	32,862	319.1%
		荷造運賃発送費	27,688		27,688	15,000	12,688	184.6%
		旅費交通費	38,292		38,292	60,000	△ 21,708	63.8%
		通信費	114,449		114,449	120,500	△ 6,052	95.0%
		消耗品費・事務用品費	484,442		484,442	450,000	34,442	107.7%
		その他経費等	360,208		360,208	509,000	△ 148,792	70.8%
		水道光熱費	120,049		120,049	111,000	9,049	108.2%
		地代家賃	888,000		888,000	888,000	0	100.0%
		保険料	162,149		162,149	151,000	11,149	107.4%
		租税公課	1,628,535		1,628,535	278,500	1,350,035	584.8%
		減価償却費・保証金償却費	1,154,718		1,154,718	1,163,000	△ 8,283	99.3%
		支払手数料	279,709		279,709	180,000	99,709	155.4%
		雑費	21,000		21,000	21,000	0	100.0%
その他経費計			6,091,023	0	6,091,023	4,340,000	1,751,023	140.3%
管理費計			8,213,402	0	8,213,402	6,328,700	1,884,702	129.8%
経常費用計			136,258,686	2,103,683	138,362,369	135,192,500	1,066,186	100.8%
当期経常損益差額			7,233,712	△ 266,583	6,967,129	4,806,000	2,427,712	150.5%
III 経常外収益								
1.	奨学基金繰入収益		1,802,100		1,802,100	2,500,000	△ 697,900	72.1%
2.	特別会計繰入収益		736,353		736,353	736,353	0	-
3.	通常会計繰入収益			1,854,934	1,854,934			-
経常外収益計			2,538,453	1,854,934	4,393,387	2,500,000	38,453	101.5%
IV 経常外費用								
1. 通常会計繰入額								
2. 特別会計繰入額								
3.	支払利息		453,292	1,889,752	453,292	585,000	△ 131,708	77.5%
4.	退職金給付引当金		1,416,923		1,416,923	1,100,000	316,923	128.8%
5.	前期修正損		217,234		217,234	500,000	△ 282,766	43.4%
経常外費用計			2,087,449	1,889,752	3,977,201	2,185,000	△ 97,551	95.5%
当期損益差額			7,684,716	0	7,684,716	5,121,000	2,563,716	150.1%
前期繰越損益額			△ 118,637,260	0	△ 118,637,260	△ 118,637,260	0	-
次期繰越損益額			△ 110,952,544	0	△ 110,952,544	△ 113,516,260	2,563,716	97.7%

(2) 貸借対照表 (2017年3月31日現在)

(単位:円)

(参考)

科目	金額		前期末増減額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	65,195,877		
立替金	11,091		
未収入金	11,252,690		
貯蔵品	178,416		
前払費用	4,140,930		
流動資産合計		80,779,004	△ 3,232,480
2 固定資産			
土地	91,723,840		
建物	12,449,442		
建物附属設備	2,828,064		
備品	586,065		
電話加入権	648,000		
保証金	12,864,000		
出資金	50,000		
固定資産合計		121,149,411	63,390,386
資産合計			201,928,415
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	14,218,699		
未払金	1,569,579		
仮受金	0		
賞与引当金	3,179,740		
預り金	4,968,396		
寄付金預り金	1,869,834		
提携事業本部送金	345,000		
預り保証金	5,250,000		
流動負債合計		31,401,248	5,992,703
2 固定負債			
長期借入金	37,330,000		
預かり敷金	152,000		
退職給付引当金	19,492,088		
固定負債合計		56,974,088	38,598,923
負債合計			88,375,336
III 正味財産の部			
基本金		224,505,623	7,881,564
前期繰越損益額		△ 118,637,260	12,427,210
当期損益増減額		7,684,716	△ 4,742,494
次期繰越損益額		△ 110,952,544	7,684,716
正味財産合計			113,553,079
負債及び正味財産合計			201,928,415

財務諸表の注記 (略)

監査報告

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥 地 圭 子 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第 22 条に基づき、貴法人の第 18 期事業年度（自平成 28 年 4 月 1 日至平成 29 年 3 月 31 日）の決算に関し、提示された帳簿書類に基づき監査したところ、決算報告書、すなわち通常会計及び特別会計に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、正規の簿記の原則に従って貴法人の財政状態並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上の通り報告いたします。

平成 29 年 5 月 29 日

監 事 安村長生 

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥 地 圭 子 殿

私は特定非営利活動法人東京シューレ第18期事業年度（自2016年4月1日至2017年3月31日）の会務および事業・活動は、法人の目的にそって適正に行われたものと認めます。

以上の通り報告いたします。

2017年 5月 13日

監 事 牧野 恵 

2017 年度（第 19 期）活動の重点について

〔重点 1〕 会員増、ニーズの高まりに対応する適正なスタッフ体制や環境づくりを行います。

- 常勤スタッフ 2 名（王子、新宿）の新規採用
- サポートスタッフ体制継続（計 6 名 王子、新宿、流山、高校コース）

〔重点 2〕 教育機会確保法や文科省の施策に対応する取り組みを推進していきます。

- 年度間は義務教育年齢の受け入れに重点を置き、活動・学習を充実（フリースクール初中等部、ホームシューレ小中学生）
- 教育委員会・学校等との連携・情報共有、連絡協議会開催の働きかけ
- 会員在籍校との連携強化・担任説明会開催
- フリネット、実現する会等と連携した公民連携の情報交換・推進

〔重点 3〕 一人ひとりの多様な状況や個別性にそった学び・活動づくりを促進します。

- 家庭（学校以外の学習の場[教育機会確保法]）での学びやホームエデュケーションを広げる取り組み
- ホームエデュケーション集会開催
- フリースクールチュートリアル、個別タイム

〔重点 4〕 大田建物新築とスペース開設準備を行います。

- 保育所併設の建物（3 階建て）を大田区仲六郷（旧大田シューレ跡）に新築
- 保育事業者と提携し、1～2 階を東京都認可保育所として貸し出し賃料収入で建設費をまかなう
- 3 階をフリースクールとして開設の準備

〔重点 5〕 広報・運営基盤強化・整備の取り組みを推進します。

- パンフレット、ホームページ改善
- 情報公開や広報など活動発信の強化
- 企業・NPO 等との連携・協働の推進
- 認可保育所施設貸し出しのため、定款変更

新役員

役職	氏名	所属および関係団体
理事長	奥地圭子	学校法人東京シューレ学園理事長、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事、登校拒否を考える会代表、全国不登校新聞社代表理事、フリースクール全国ネットワーク代表理事、多様な学び保障法を実現する会共同代表、ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク理事
副理事長	牧野泰美	新宿シューレ会員（高等部）、王子OG保護者
理事 事務局長	中村国生	事務局・王子シューレスタッフ、東京シューレ学園理事
理事	大橋泰之	王子シューレ会員（高等部）保護者
理事	立山剛	王子シューレ会員（初等部）保護者
理事	京藤裕子	王子シューレOB保護者、ホームシューレ会員保護者
理事	下村洋子	王子シューレOG保護者
理事	佐藤信一	王子シューレスタッフ
理事	大豆生田千夏	新宿シューレ会員（高等部・高校コース）保護者
理事	西明子	新宿シューレ会員（高等部・高校コース）保護者
理事	倉原香苗	新宿シューレスタッフ、(株)創造集団 440Hz 監査役
理事	池田あつ子	流山シューレ（旧 柏の葉シューレ）OG保護者、ホームシューレ保護者
理事	帯津葉子	流山シューレスタッフ
理事	中島泉	ホームシューレ会員保護者
理事	矢嶋康平	ホームシューレスタッフ
理事	山本さゆり	シューレ大学学生父母
理事	朝倉景樹	シューレ大学スタッフ、東京シューレ学園理事、(株)創造集団 440Hz 取締役
理事	木村砂織	東京シューレ学園理事・スタッフ、日本子ども NPO センター理事、全国不登校新聞社理事
理事	藤田岳幸	東京シューレ葛飾中学校スタッフ
監事	安村長生	公認会計士、NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク顧問
監事	牧野恵	ホームシューレ会員保護者